

謹賀新年

とういん 議会だより



東員町議会HPはこちら▶



令和8年1月5日

12月定例会

166号

発行 三重県東員町議会

- 補正予算・条例改正・請願 2
- 部活動で聴きました 4
- 9人が町政を問う 7
- 委員会活動 12
- 議長任期の変更時期は 17

補正予算

12月定例会は、12月1日から12月15日までの会期で開かれました。

令和7年度補正予算や条例改正など議案16件、請願1件を審議し、原案の通り可決・採択しました。

補正予算

未熟児養育医療費

(156万円)

高齢者福祉事業関係補助

(▲120万円)

新しい命にやさしい支援

問 未熟児養育医療費の対象は何件ですか。
病院と役所の連携と対象児の把握はどうなっていますか。

答 子ども家庭課 対象児は2人でした。体重が2000g以下で生まれた赤ちゃんなどは、NICU(新生児集中治療室)に入り治療を受けます。退院前には病院から連絡がくるので、早期に訪問して継続支援しています。



元気に育ってね

学校給食費

(583万円)

いつまで続くコメ価格の上昇

問 学校給食費の増額補正の内容は何ですか。

答 教育総務課 米の契約単価が475円/kgが10月から1.6倍の770円/kgになりました。年間30tの米を使用しており当初単価との差額583万円を増額補正するものです。

給食の質を維持するため、また、著しい価格上昇を保護者負担ではなく、一般財源で増額補正します。

米は東員町産を使用しており、農協から農家に依頼しています。

相談と健康を支える事業

問 第2地域包括支援センターの移転の状況はどうですか。

答 健康長寿課 第2地域包括支援センターは現在笠尾連絡所にありますが、対象者や相談件数が増えているため笠尾地区内での移転を計画しています。

候補場所を複数に絞り込んでおり、令和8年4月以降に移転する計画で取り組んでいます。



手狭になりました

問 フレイル予防事業委託料220万円の予算を全額なくすのはどうしてですか。

答 健康長寿課 健康サポートサービス事業(電力データとAIによるフレイル予防事業)は、中部電力から、精度向上のために再度実証試験とするので委託費は不要との申し入れがあったためです。

現在のサービスは引き続き提供されます。

介護いらずの未来は、今から準備。



本サービスについてのお問い合わせ、ご利用希望は、お電話または役場窓口まで

東員町役場 健康長寿課 0594-86-2823



令和8年4月から 「子ども誰でも通園」スタート

東員町乳幼児通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

【概要】

保護者の子育ての不安や負担を軽減し、すべての子どもが良質な生育環境で育つことを支援する制度で、令和8年4月から「みなみ保育園」の施設を利用し試行運営します。

【利用ルールの計画案】

- 0歳6か月から3歳未満の未就園児
- 定員4人（先着順予定）
- こども1人当たり月3時間の上限
(本格運営は月10時間上限で実施予定)
- 利用料金は、1時間当たり300円（予定）



天使の笑顔（みなみ保育園）



設置要望の一箇所

請願6号

【件名】防犯カメラ及び維持費に対する補助制度を求める

【請願者】

笠尾自治会連絡協議会
会長 神野 和雄

城山自治会連絡協議会
会長 坪内 博美

【請願概要】

町による防犯カメラ設置および維持費に対する補助制度の整備を強く求めるものです。

【審査結果】

全会一致で採択

人事院勧告による議員の期末手当を引き上げる条例制定への賛否

反対討論

（大崎議員）

特別公務員の議員へ人事院勧告を連動することは不適切です。

町民の付託を受けている議会議員は、物価高に苦しむ町民生活に寄り添う必要有りと考えます。

議員の期末手当増額は福祉施策向上に直結する保証もなく、住民感情に乖離が生まれ、理解は得られないと考え、反対します。

賛成討論

（伊藤まり議員）

議員報酬を適正水準に整えることで、若い世代が生計の心配をせずに議員職を選びやすくなり、世代バランスの取れた議会運営につながります。

若い世代の参入は数十年先の未来をとらえた政策決定に不可欠であり、持続可能なまちづくりの将来の負担を考えられるようになります。

民間給与との格差是正の一歩として、本議案に賛成します。

東員第一中学校男子卓球部で聴きました！

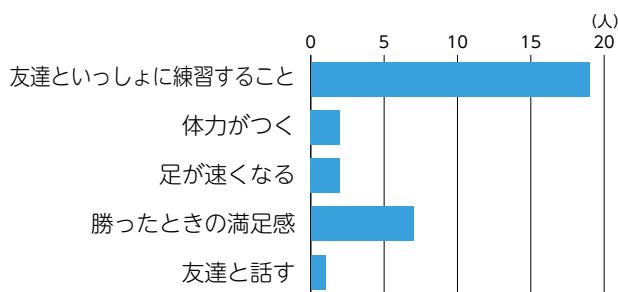


☆質問項目

①部活動の楽しいこと ②部活動に入った理由 ③部活動の大変なこと ④部活動で得たことは ⑤一言コメント

①部活動の楽しいこと

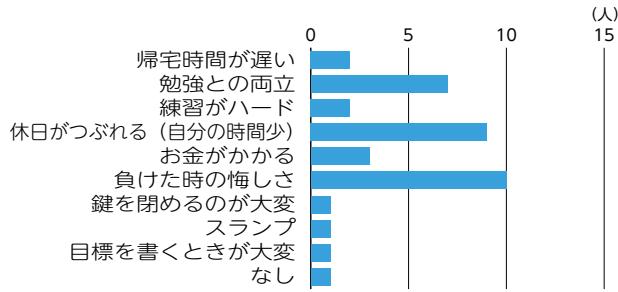
(複数回答あり)



②この部活動に入った理由

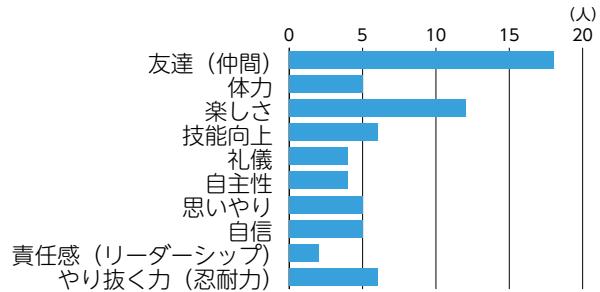
③部活動の大変なこと

(複数回答あり)



④部活動で得たこと

(複数回答あり)



⑤一言コメント

■岩崎祐月さん(2年、主将)
楽しく楽しく練習して、桑員大会ベスト4をめざします。

■加藤幸村さん(2年)
強いドライブを連続で決められるようになりたいです。

■関島功馬さん(1年)他3名
平日の部活時間が短すぎます。

■中村隼都さん(2年)
全校集会でずっと座っているとおしゃりが痛くなるので、途中で休憩時間を入れるとか、工夫してください。

■中井誠崇さん(2年)
新東員第一中は体育館や卓球場にエアコンをつけてください。

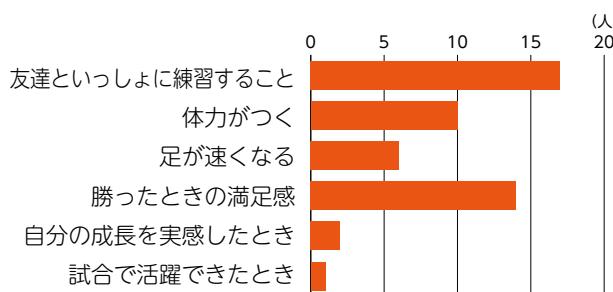
大変なことなど

東員第一中学校軟式野球部で聴きました！

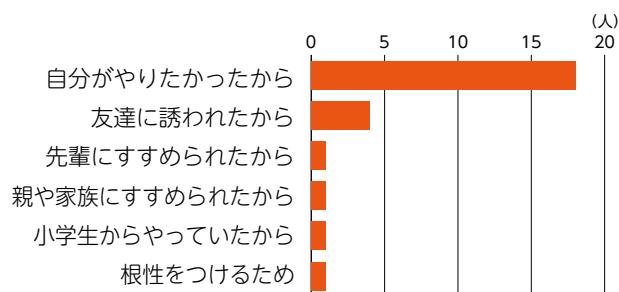


①部活動の楽しいこと

(複数回答あり)



②この部活動に入った理由



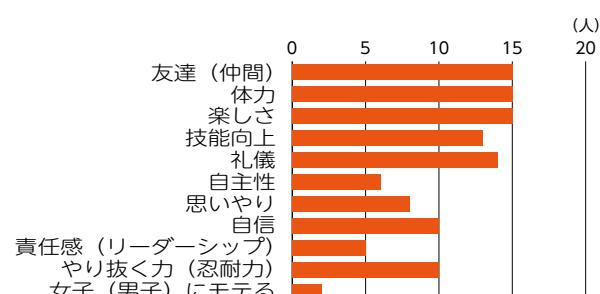
③部活動の大変なこと

(複数回答あり)



④部活動で得たこと

(複数回答あり)



⑤一言コメント

■近藤空飛さん(2年、主将)
みんなから信頼されるキャプテンをめざします。

■大山咲空さん(2年)他9名
桑員地区1位をめざします。

■廣田健人さん(2年)他10名
部活時間をもっと増やしてほしい。

■伊藤聰真さん(2年)
技術を極めて、チームを勝利に導ける選手になりたいです。

■駒田陽さん(2年)
打てるピッチャーをめざします。

■佐藤慧悟さん(1年)
バットのグリップをよくしてほしい。

各議案の賛否

令和7年度第5回定例会 (12月1日～12月15日)

○全会一致の議案○

議案名	審議結果
固定資産評価審査委員会の委員の選任について 概要 固定資産評価審査委員会に石垣庄司氏を選任するにあたり、議会の同意を求めるものです。	同意
東員町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 概要 乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準を定めるものです。	可決
委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 概要 委員報酬の区分を追加。旅費法の改正に準拠し、所要の改正を行うものです。	可決
証人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 概要 旅費法の改正に準拠し、所要の改正を行うものです。	可決
東員町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 概要 人事院勧告に伴い、給料表の改正、賞与の支給率と通勤手当を引き上げるものです。	可決
東員町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 概要 人事院勧告に伴い、給料表の改正、賞与の支給率を0.025月分引き上げるものです。	可決
東員町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 概要 家庭的保育事業等の利用乳幼児に対する健康診断の実施義務を一部軽減するものです。	可決
東員町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 概要 児童福祉法の改正に伴い、所要の改正を行うものです。	可決
東員町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 概要 児童福祉法等の改正に伴い、所要の改正を行うものです。	可決
東員町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 概要 厚生労働省令の改正に伴い、所要の改正をするものです。	可決
令和7年度東員町一般会計補正予算（第4号） 概要 歳入歳出1億6077万円を増額補正し、予算総額を129億3695万円とするものです。	可決
令和7年度東員町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 概要 歳入歳出42万円を増額補正し、予算総額を26億6987万円とするものです。	可決
令和7年度東員町介護保険特別会計補正予算（第2号） 概要 歳入歳出2399万円を増額補正し、予算総額を20億2391万円とするものです。	可決
令和7年度東員町水道事業会計補正予算（第1号） 概要 債務負担行為の設定をするものです。（年度またぎの予算）	可決
令和7年度東員町下水道事業会計補正予算（第1号） 概要 資本的収支予算を1287万円増額補正し、予算総額を4億2827万円とするものです。	可決
防犯カメラ設置及び維持費に対する補助制度の拡充を求める請願書 概要 地域住民の安心・安全を確保するため、防犯カメラの設置及び補助制度の拡充を求めるものです。	採択

○賛否の分かれた議案・件名○

議案名・件名	議員名	伊藤まり	山田由紀子	大崎昭一	広田久男	伊藤治雄	片松雅弘	大谷勝治	三林浩	山崎まゆみ	島田正彦	南部豊	水谷喜和	川瀬孝代	三宅耕三	審議結果
東員町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 概要 人事院勧告に伴い、期末手当の支給率を0.05月分引き上げるものです。	○ ○ × ○ ○ ○ ○ ○ × ○ - ○ ○ 可決															
議長（-）は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。-は退席。																

一般質問

一般質問とは、町政・財政全般について町長の考え方や疑問点を質す政策論議のことを言います。

ただし、議案審議（委員会など）の段階で質問できる内容は一般質問としては適当ではないとされています。

9人が町政を問う

P8

三宅 耕三 議員

- ・町長の政治姿勢を問う
- ・中学校の課題について

P8

山崎まゆみ 議員

- ・“新しい認知症観”について

P9

三林 浩 議員

- ・町政運営について
- ・子どもの食物アレルギー対応について

P9

大谷 勝治 議員

- ・水環境について
- ・東員町の自然環境について

P10

広田 久男 議員

- ・ゼロカーボンへの取り組み
- ・新東員第一中学校通学路の安全確保

P10

伊藤 治雄 議員

- ・学びの社会の構築と役割について

P11

片松 雅弘 議員

- ・まちづくりについて

P11

山田由紀子 議員

- ・鳥獣被害対策について
- ・未満児の保育園待機児童について
- ・学童保育所・放課後児童クラブについて

P12

伊藤 まり 議員

- ・空き家対策について
- ・トイレの環境整備について
- ・学童保育の支援について

一般質問の内容を動画で視聴できます。

町ホームページの「東員町議会」から「録画動画配信」を検索するか、
スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



東員駅から見た新東員第一中学校建設現場（12月撮影）

Q. 町長の責任は

A. 責任は私にあります

みやけ
三宅
こうぞう
耕三 議員



問 一般競争入札での最終責任者は誰ですか。
※他にも質問しました。

答 町長 すべての責任は、執行機関の長である私にあります。
※他は通告ないので応えられません。



地域展開される中学校部活

問 新東員第一中学校の通学路の安全対策につながる歩道整備と用地取得の進捗状況について伺います。

また、教員の働き方改革による国の方針で、中学校の部活動が地域展開されます。今後のスケジュールと東員町独自の支援策を伺います。

答 教育長 東員駅から学校までの区間は、現在ある、学校の反対側と併せて、両側歩道の設置を県に要望し、事業に着手しています。

休日部活の地域展開の取り組みは、令和8年9月から試行し、令和9年9月に本格実施を考えています。

活動の受け皿としては、東員町スポーツ協会フレンドリークラブの教室、文化協会委託の公民館講座などや民間のクラブチームを想定しています。

費用負担は、国は受益者負担を原則としていますが、経済的な理由で活動を断念する生徒が出ないよう、公的負担も含め今後検討していきます。



安全な通学路予定地

Q. 認知症の偏見なくすには

A. 自分事として考えることです

やまざき
山崎
まゆみ 議員



問 認知症の前段階である「軽度認知障害(MCI)」も含めると、高齢者のおよそ3.5人に1人が認知症に該当するとされ、地域全体での理解向上は益々重要になっています。認知症の方が希望を持って暮らせるように、「認知症基本法」を踏まえた町の認知症施策について以下お伺いします。

(1)「古い認知症観」～認知症になると何もできない～が根強く残っている現状をどのように考えますか。

(2)「新しい認知症観」～認知症になってしまっても自分らしく暮らし続けられる～を地域の幅広い世代に普及するには、どうしますか。

(3)認知症の方が地域活動に参加できるような支援はありますか。

答 健康長寿課長 (1)全ての人が正しい知識と理解を持つことが不可欠ですが、認知症の人に対する偏見、「自分には関係のないこと」「避けたいこと」という考えが共生の妨げになっています。

(2)本町が令和8年度中に策定する認知症施策推進計画の中に「新しい認知症観」を位置づけて普及していきます。

(3)認知症の方に限らず誰もが気軽に地域活動に参加できることは大切です。共に地域で暮らす住民一人ひとりが生きがいや役割を持ち、能力を発揮できる社会、全ての人に優しく尊重し合い、支え合う共生社会の実現を目指してまいります。



認知症の人も暮らしやすい地域

Q. 子どもの食物アレルギー対応は

A. 三重県策定の手引きで対応

みつばやし
三林
ひろし
浩 議員



問 日本では、小中学校における食物アレルギー児童生徒数が増加傾向にあり、特にこの20年間で大きく増えているとの報告もあり、社会的な健康課題として深刻化しています。そんな中、本町のアレルギー対応の現状についてどのように認識しているのか伺います。

答 教育総務課長 本町の食物アレルギー疾患を持つ園児・児童生徒の数は、全国的な水準と同様に増加傾向にあります。

また、給食センターにおける食物アレルギー対応の対象者数をデータで見ると平成24年度が全園児・児童生徒の約1%が令和5年度には約2%へと上昇し、この

数年で倍増しており、アレルギー対応の重要性が高まっています。このような背景を踏まえ、本町では三重県が策定した「学校におけるアレルギー疾患対応の手引き」をもとに、調査を実施し、医師が記入した「学校生活管理指導表」を関係職員で共有し、一人ひとりの安全の確保に努めています。

子どものアレルギー対応は、未来を担う児童生徒の健全な成長に不可欠な基盤であり、いかなる事故も起こしてはならない最重要課題と認識しています。

給食支援は

問 国で給食費無償化の議論がありますが、アレルギー疾

患により給食を食べられない子供に対して、本町としてどのような支援を考えていますか。

答 教育長 公平性の観点から何らかの支援を考えています。



Q. 3点の課題は

A. 確認でき次第報告をします

おおたに
大谷
かつじ
勝治 議員



問 河川、水路の水環境保全について町の取り組みを伺います。

答 みらい環境課長 本町の環境保全に係る検査測定業務は、河川10箇所を含む計14箇所を対象として年2回の水質調査を実施しています。

調査結果は、概ね環境基準値以下となっています。超える場合には、経過観察のうえ必要に応じて三重県桑名地域総合防災事務所環境室と連携し原因究明などの調査を行っています。

その他、公害防止協定に基づき町内企業から水質検査報告を受けています。

問 3点の課題について、対応を伺います。

(1)水源涵養地における埋立地の確認はどうですか。
(2)六価クロムが環境基準を上回っている事例への対応はどうしていますか。
(3)PFAS問題について汚泥肥料の安全性はどうですか。

答 みらい環境課長 (1)、(2)の課題については後日確認でき次第報告をします。

(3)については安全性に問題はないと認識しています。

豊かな自然環境は

問 自然環境についての取り組みを伺います。

答 社会教育課長 日本の固有種であるゲンジボタルが町内の河川や用水などで夜空を彩り、秋の七草フジバカマの蜜を求めて旅する蝶アサギマダラが訪れる豊かな自然環境が町内に整いつつあります。市民活動団体の皆さんにより、ホタルの生息地での看板設置や水路などのごみ拾い、環境保全活動に取り組んでもらっています。



ホタルの生息する水路

Q. 可燃ごみの削減量は

A. 3年間で 217t 減りました

ひろた
広田
ひさお
久男 議員



問 本町では地球温暖化対策のため温室効果ガスの削減に取り組んでいます。そこで、以下2点について伺います。
 ①可燃ごみの排出量推移と削減への取り組み。
 ②太陽光パネル設置や省エネ改築、省エネ家電などの普及状況と取り組み。

答 みらい環境課長 ①可燃ごみの排出量は、令和3年度の排出量は4118t、令和6年度は、3901tであり、217t減少しています。

桑名広域清掃事業組合の実績では、可燃ごみ1tを焼却すると、約300kgのCO₂を排出するため、年間約65tのCO₂排出量削減と

なります。

みなさんのごみ削減意識と適切な分別による成果であり、今後も啓発活動と生ごみ処理機などの購入補助や生ごみ堆肥化事業に取り組んでいきます。
 ②太陽光発電や蓄電池設置、省エネ家電の買い換え補助などにより、普及実績は伸びています。

2030年度のCO₂排出量を2013年度実績から50%削減をめざしており、計画的に進めます。



みんなで減らそう可燃ごみ

答 教育長 「通学路安全推進会議」で問題を集約し、関係機関と連携して、中学校周辺の歩道新設、歩道の自転車通行認定など、安全対策に取り組んでいます。

新第一中 通学路の安全

問 令和9年4月開校を予定し、現在 移転建設中の東員第一中学校について、通学路の安全確保を伺います。



いとう
伊藤
はるお
治雄 議員

問 国においては、コミュニティスクール(※学校運営協議会制度)を全公立学校において設立することを目標に掲げていますが、導入状況をお尋ねします。

答 教育委員会事務局長 今まで設置していませんでしたが、地域の意識や社会情勢が変わるなか、地域の豊かな支援環境を活用するため、来年度から城山小学校において制度を活用し、準備を進めています。

今後は、取り組み状況を踏まえ、その成果も分析しつつ、設置可能な学校から順次広げていきたいと考えています。

なお、PTAは任意の団体ですが、コミュニティスクールは、法令に

Q. コミュニティスクールの設置は

A. 城山小学校で準備を進めます

基づき一定の権限を持つ組織として学校運営に参画予定です。

給食費の今後は

問 憲法では、義務教育は無償としていますが、給食費についての考え方をお尋ねします。

答 教育委員会事務局長 現在、教科書以外の学用品費、給食費、修学旅行費などは保護者が負担しています。

給食費は、国で、来年度からの小学校での無償化の議論がなされています。

本町も、国の動向を踏まえ、今後、明示される制度内容や支援策に沿って対応を進めていく予定

です。

※ 保護者や地域住民が学校の教育目標やビジョンを共有し、共に子どもを育てる 것을目標とします。



楽しい給食の時間



片松
まさひろ
雅弘 議員

問 今後のまちづくりの課題である急速な核家族化や高齢化は、地域の連携意識の希薄化等により、自治会等への加入率の低下や、新たな人材の確保も課題となっています。

町による自治会などへの加入支援条例や自治会費の徴収支援などできませんか。また公共施設等総合管理計画で、旧笹尾第二保育園の跡地と城山中央集会所など町有地を売却など含めた調査を行っていますが、この施設は、笹尾城山地区から地域で利活用したいとの要望も多く出ています。

売却ありきの調査ではなく、まちづくりと防災拠点が同時にでき、平常時には町民が気軽に集ま



山田
ゆきこ
議員

問 サル・アライグマ・ハクビシンなどの行動に全町内から「困っている」との声が聞こえています。子どもへ危害、交通事故などが発生してからでは安心安全な生活はできません。令和3年に鳥獣被害防止特措法は改定がありました。近隣市町や東員町の他課との連携も重要と考えます。早急に対応を求めます。

答 産業課長 ここ3・4年は農作物被害の届け出はありません。その為、対策としては、通報後に職員が現場に出向き追い払いをするなどの「鳥獣保護管理条例」等に基づく対応をしてまいりました。しかしながら、今後は自然保護も念頭に、住民の暮らしを

Q. 東員町のまちづくりは A. 地域づくりを推進します

れる「ふれあい防災拠点」としての活用はできないのですか。

度チャレンジする気はありませんか。

答 政策課長 主体的に特色のある地域づくりの推進を進め、自治会を中心に自立した地域づくりの支援を行っています。

答 総括課長 防災拠点は全町的に対応できる拠点を考えています。

答 町長 あきらめたわけではなく可能な限りチャレンジしていきます。



つなげていこう地域の支え合い

東員駅前開発は

問 以前、水谷町長が熱く語った東員駅前開発は、東員町の将来にとって夢のある事業だと今でも思っています。もう一

Q. 鳥獣被害防止特措法の理解は A. 対策計画を作成します

守る取り組みを丁寧に進めています。

まえ「誰でも通園制度」は4月から4名の受け入れ予定です。

子ども達の声を聴いて

問 未満児の保育園待機児童は解決ですか。「誰でも通園制度」は開始ですか。保育士不足解消の一手として、有資格者のボランティアと連携し、保育スペースとして、図書館のプレイルームの活用を提案します。

答 社会教育課長 図書館利用の方にプレイルームの利用は、授乳室なども併設された空間ですので、開館時間に合わせて利用は誰でも可能です。



子育てや学びも図書館！…いいね

答 学校教育課長 待機児童は、11月現在33名です。保育士不足と、保育士一人当たりの配置基準が少なく、受け入れ人数を増やすことが難しいという構造課題がありますが、国の施策を踏



いとう
まり 議員

Q. 空き家問題の対応は

A. 協議会を今年度中に開催へ

ます。

問 空き家に関する相談件数と内容はどうですか。

答 建設課長 自治会長や町民、所有者から、越境木や管理不全による野生動物の住み着きなどの相談があります。職員は、特別措置法を基に、登記や税情報、水道の状況を調査し、電話・面談・郵送により改善を依頼しています。今年度は60回以上対応しており、改善に至った事例もありますが、相続人が十数人に及ぶなど長期間を要する事案もあります。越境木は剪定しても再び伸びるため、継続的に働きかけています。

しかし、空き家は所有者の財産なので、行政の対応は限界があり

問 法的権限の活用と空き家対策協議会の開催はどうですか。

答 建設課長 法的措置は、特定空き家などに認定された場合に限り、指導、勧告、命令、代執行が可能です。現在、東員町では特定空き家などの認定がないため、固定資産税の特例除外を含め法的措置の活用事例はありません。

特定空き家などの認定は専門家や住民代表が参加する空き家対策協議会で審議して決めますが、昨年度は協議会を開催していません。

今年度は年明けに開催します。

トイレ、洋式化へ

問 文化センターや公園のトイレの洋式化計画はどうですか。

答 副町長 文化センターの和式トイレは早期に洋式に改修します。公園のトイレは、笠尾地区の公園トイレを優先して改修する予定です。



この画像はAIで生成した特定空き家のイメージです。

全国に3路線しかない希少な鉄道なんだ

北勢線対策検討特別委員会
10月9日
三岐鉄道意見交換

北勢線を運営する三岐鉄道と、最近の状況や今後の方針を懇談しました。



研修報告書は↑

三岐鉄道北勢線は、日本で3路線しかない軌道幅762mmのナローゲージです。

西桑名駅から東員駅を経由し阿下喜駅までの13駅、路線距離20.4kmです。

2003年（平成15年）から地元自治体の支援で運営しています。

令和6年度よりIC乗車カード導入に伴う利用増、並行する三重交通バスの運賃値上げなどにより、コロナ禍前よりも収入は上回っていますが、まだまだ自立運行には至っていません。委員会では経営状態の状況確認や改善の提案を行いました。



三岐鉄道への聞き取りと意見交換

米原市のデマンド交通を視察

本年度の活動テーマである地域交通に関し、先進地である米原市のデマンド交通を視察し、研修を行いました。



研修報告書は↑



総務建設常任委員会

10月15日

滋賀県米原市

狭い道路でも走行可能な小型車両を使用し、電話予約による不定時の送迎が可能となるデマンド交通の導入で町の人口分布を考慮し世代を問わず、買い物や趣味活動などに生かせ、生きがい対策としても有効と考えます。

タクシー事業者などとの連携による導入は現実的で、近隣市町との相互乗り入れも視野に、住民ニーズに応じた交通手段と考えます。

委員会としては、行政に対し新たな公共交通のあり方として提言しました。

小松市のライドシェアを視察

総務建設常任委員会
10月16日^{10月16日}
石川県小松市

本年度の活動テーマである地域交通に関し、先進地である小松市のライドシェアを視察し研修を行いました。

民間活力の利用促進のために夜間など限定的な時間帯の送迎システムであるライドシェアの導入がされました。

人口減少や高齢化が進む地域での交通モデルとしては有効で、福祉や災害対策と経済活動を両立する運行時間設定は、制度として先進的ではありますが、国の交付金など安定した財源の確保が課題です。

委員会としては、日本版ライドシェアについては、全国的な動向に注視し適切な対応を行うよう提言しました。



小松市議会本会議場

人口減少を受け止める

賢く収縮するまちづくり
～みんなで支え合って協力するまち～
の実現を目指す美咲町



研修報告書は↑

教育民生常任委員会

10月7日

岡山県美咲町



この10年で人口2500人が減少し、現在は人口約13000人の「消滅可能性都市」と指摘された自治体です。

高齢化率が50%を超える中、小さな自治会単位ではなく、小学校区や旧行政区などより大きな単位で補完しあえるように、住民自身が課題を洗い出して「地域未来計画」をつくり「自分たちで決めてみる。楽しみながらやってみる。だめならやり直せばいい」と前向きに取り組み、課題解決に取り組んでいます。

徹底的に「ごみ質調査」

教育民生常任委員会
10月8日
兵庫県加古川町

「ごみ減量 20%」をスローガンに
みんなが主役で取り組もう !!
ごみ減量とリサイクルを学んできました

ごみ減量の取り組みのために各地区で集めたごみをブルーシートの上に広げて手作業で分別して「ごみ質調査」を行い、どんなごみがあって何を減らせるか、徹底的に調査を行い取り組んでいました。

粗大ごみの排出が困難な高齢者世帯などは、事前に電話やインターネットで申し込み、処理券を購入すれば、指定日に家庭まで担当者が出向き収集運搬処理する制度のほか、市民参加型の「冷蔵庫中身チェック」や「小学4年夏休みごみ減量チャレンジ」をしていました。



動画で魅せる新時代の議会広報

「読む」から「見る＝魅せる」
広報に、議員が動画で伝える
ウェブサイトや先進的な広報
広聴活動について学んできま
した。



研修報告書は↑



広報広聴常任委員会

10月23日

神奈川県開成町

議会のことを「議会だより」だけで伝える
のは限界、もっと迅速にたくさんの情報を伝
えられる議会独自のウェブサイトを開設し、
動画による情報発信を推進しています。

議員の自己紹介動画、委員会活動の報告
動画、一般質問の予告動画と終了後インタ
ビューなど、20秒から1分くらいの短い動画
を、議員自身が言葉と映像で伝えています。

活字に比べて何十倍も議会や議員の取り組
みや熱意などが伝わります。

動画を活用した議会広報は斬新で、多いに
広報改革の参考になりました。

原稿と写真撮影は議会事務局で

広報広聴常任委員会

10月24日

神奈川県寒川町

令和6年度全国町村議長会表彰 特別賞を
受賞した寒川町議会に行き、広報広聴の取り
組みについて研修してきました。

寒川町議会では、一般質問を行った議員が
質問部分の原稿を作成し、議会事務局が答弁
の原稿、他記事の原稿作成や写真撮影を担当
し、全体の割り付けまで行っています。

広報広聴委員会は数回開催して完成原稿を
チェックする制作方法でした。

本町議会は、一般質問は登壇議員が作成、
他記事の原稿と写真撮影は広報広聴委員が行
うやり方とは異なり、驚きました。

また、住民との交流の場づくりとして「議
会親子探検ツアー」や「町産業まつり」に議
会ブース出店などは参考になりました。



寒川町議会本会議場

住民が関心をもつ議会を目指して

住みたい村調査全国1位
議会改革度調査村の部全国
1位の宮田村議会を視察訪問
しました。



研修報告書は↑

議会運営委員会

9月29日

長野県宮田村



《みんなでやろう、考えよう、だいじな村づくり》のキャッチフレーズで『宮田村むらびと会議』を開催され、住民の意見や提案を聞いています。特に、若者の関心を高めるために、高校生の夏休み期間中に集中的に実施されています。

毎年「議会評価報告書」で検証し、議会の役割と責務を果たそうとする姿勢に、共鳴させられました。

議会が推進する主権者教育

議会運営委員会
9月30日
長野県伊那市

議会への関心を高めるために「議会における主権者教育の方法」と「市民と議会の意見交換会」について、視察してきました。

市議会議員選挙が無投票となったことを契機に、全議員の参加で『魅力ある議会づくり検討会』を平成30年から設置されています。

議会は、議会傍聴や意見交換会の実施を依頼するために、令和4年度から市内4つの高校すべてを訪問しています。

高校生から、災害時に運営スタッフとして高校生が参画するというような主体的な意見も出て、若者の主権者教育が功を奏しています。

住民の声を活かせる議会改革に感銘を受けました。



正副議長を2年任期に 変更する適切な時期は



経緯

正副議長の任期は、地方自治法により4年と決まっています。

しかし、本町では「申し合わせ事項」で1年にしています。一方で委員会の任期は、東員町議会委員会条例で2年に決めています。

そのため正副議長が1年で交代すると、委員会の構成メンバーも1年で変わります。

それを解消するために、議長の任期を2年にすることを全議員合意で決定しました。

現在、正副議長任期2年制の開始時期はいつからにするかを協議しています。

各議員の意見▶



主な意見

任期変更の時期は

令和8年からとする理由	令和10年（選挙後）からとする理由
委員会任期は令和7年で2年が満了するため、令和8年3月からすれば委員会との矛盾がなくなるので出来る時から実施すべきである。	役員任期の変更は、一定期間で住民アンケートなどを実施する。 引継ぎなどに時間を要するので、時期改選後にすること。
自分たちの内部の議会運営に関する件なので自分たちで決めればよい。 県内で議長任期1年は、本町だけ。 改善は早くした方が住民のためになる。	住民に議会への関心を持ってもらえるよう、当議論の公開と住民の意見を聞くことも必要である。
正副議長の任期を1年から2年にすることで実務上、時間を多くかけなくとも直ぐにできるため、令和8年3月から実施すべきである。 また、引継ぎ方法は今までと変わらない。	時間を掛けてじっくり協議することが先決である。 また、役職交代時の方法など実務面での整理が必要となるため、改選後にすることで円滑な制度移行が可能である。

結果

全議員の合意形成は難しいため、議長判断で開始時期の決定は先送りとなりました。

視察受け入れ実績

受入日	議会名	視察内容
10月2日	福岡県遠賀郡議長会	議会活性化（議会報告会、ハラスマント条例制定の経緯）
10月6日	栃木県那須町議会	議会改革（政策提言・議員報告会）

私たちはローカルで幸せを見つける

北勢5町議会議員研修会 10月3日 菰野町庁舎

講師：指出 一正氏
さし で かずまさ

関係人口（移住しなくとも町外から応援したり、その町の課題解決に関わったりする人々）のなりたちや、少子高齢化が進む未来のまちづくり事例などわかりやすく説明していただきました。



木曽岬町防災関連施設視察

東員町議会・木曽岬町議会合同議員研修会 10月17日



防災をテーマに、木曽岬町防災センターと津波避難タワーを見学してきました。

地域防災計画をもとに災害に強い地域基盤整備・人命救助と、平時から災害発生に備える避難所の機能強化と啓発の重要性を学びました。

ハラスメントのない議会をめざして

東員町議会ハラスメント研修 11月26日

講師：石垣 弘美氏

今回のテーマ「アンコンシャスバイアス」は、自分では問題ないと思っていても長年の慣習や無意識の偏見が知らず知らずのうちにハラスメントの温床になり得るという内容でした。

ハラスメントに関する社会の認識や法制度は絶えず変化しており、ハラスメント研修を今後も定期的に継続していきます。



読者の



議会だより(第165号)を読んで、たくさんの感想を寄せていただきました。
ご意見などについては、行政に伝えます。
紙面の都合上、一部を紹介します。

インターネットからの声

ひとつひとつの問、答の色使いが見やすいと思います。研修報告書等も二次元コードで詳しくみられるし、クイズも二次元コードで応募できるのも嬉しいです。次号も楽しみにしております！ (60代)

左開きには、まだ違和感がある。 (70代)

今年、東員町に引っ越ししてきました。東員町のお金がどのように使われているかが分かりやすく載っていて良かったです。今後とも東員町を住みやすくするためにどのような事を実施するのかを分かりやすく、楽しく、伝えていただけることを期待しています。 (30代)

一般質問7人は少なく感じますがこういうものなのですか？質問2題までとありますがそれ以外は掲載しないということですか？いつも答弁を楽しみに読んでいます。 (50代)

表紙の写真が楽しそうで、癒されました。p11からの一般質問が町としての取り組みを確認しやすいので興味深いなと思いました。 (40代)

ハガキからの声

たいへん見やすいです！ (10代)

改良された事により読みやすくなりました。広報レポート楽しみです。 (60代)

町の出来事が色々わかるからありがたい。次の議会だより待ってます。 (80代)

追跡 あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

高3までの 医療費無償化は

問

18歳までの医療費無償化を実施している市町村は多くありますが本町でもできませんか。
(令和6年12月の一般質問)

答

各市町村で差が生じているので、地域の実情に応じて対象年齢などを定め、検討を進めています。

こうなりました

令和7年9月から、18歳年度末までの子ども医療費を無償化しました。



まちの話題 「世界に挑む町民アスリート」

2025年10月、オーストラリアで開催されたワールドトライアスロン年代別トライアスロン世界選手権に、昨年度日本エイジ60-64歳の年代別日本ランキング1位の 平田泰久さん（63歳） が出場されました。

目標としていた10位以内には届かなかったものの、来年以降に向けて大きな手応えをつかんだとのことです。

平田さんの最終目標は、世界選手権の 表彰台に立つこと。

日本には、93歳でお現役選手として走り続け、ギネス記録を持つ千葉県の男性の存在もあり、「あと30年続ければ必ず届く」と笑顔で語られました。

座右の銘は「継続は力なり」。

町民アスリートの挑戦は、私たちに努力と継続の大切さを改めて教えてくれます。今後の更なるご活躍を期待しています。



平田泰久さん（城山一丁目）

クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

正解は

問1 9月19日

問2 7人

問3 横書き、左開きにした。
(問3はどちらか1つでも正解)

多数の正解者の中からアプリで厳正に抽選した結果、当選された15の方に図書カードを贈呈します。

*中上 廣田 裕美 様
* 笹尾東3 卵野 誠二 様
*南大社 近藤万里子 様
*北大社 山口 舞子 様
*鳥取 川瀬 博美 様

*山田 内山 峻輔 様
*北大社 玉井百合香 様
*北山田 佐藤 幸江 様
* 笹尾西1 石井 久美 様
*城山2 熊坂いそ子 様
*鳥取 小坂 幸子 様
*城山2 伊東 恵 様
*中上 水谷 正子 様
*長深 伊藤美津子 様
*城山3 橋本 夢愛 様

編集後記

2年間 このメンバーで、読みやすく・分かりやすい、そして、親しみの持てる議会だよりへの改善に、一生懸命に取り組んできました。

ありがとうございました。

(委員一同)



次の定例会は
令和8年3月2日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしています。

私たちが編集しました!

議会広報広聴常任委員会

委員長／広田 久男
副委員長／伊藤 まり
委員／片松 雅弘 三林 浩
山崎まゆみ 三宅 耕三